

刊夕



定二枚紙 壹ヶ月金五拾錢
（郵政金貨月拾參錢）
廣告費 別議
印刷部 磐城信報社
電話 二一九番
發行所 磐城信報社
電話 二一九番
印刷所 磐城信報社
電話 二一九番

日八月八

民衆運動と官憲の言動

連日紛糾を重ね益悪化の傾向を呈した關西労働争議が俄然一轉解決の曙光を現してきた模様である。また安神はできぬが邦家の爲め眞に慶賀に堪へぬ。頃者米國が突如太平洋會議を提唱してきた際我國物論騒然國難來と迄叫んだ人士もあつた成程見よりに依つては左もあべきであるが併し外患は内憂より怖ろしくはない。靜かに治亂興亡の跡を観るに内に弛廢生じて始めて其の國亡ぶのである。此の見地から吾人は先般來續出する労働争議を重大視せざるには行かぬ。即ち頻發する労働争議に對し無理解の下に其の取扱ひ方を下手にすると結果や甚だ恐るべきものがあるからである。されば曰て吾人は無條件に労働者側に同情するものではない。彼等は斯る運動を斷行するに當り先づ以て甚深の注意を要する。換言すれば彼等の身邊には或種分子の煽動若しくは一部政治家等が政權争奪を目的とする策動などに利用せられてはならない。萬一之を發見したならば是等の不純分子を一切拂ひ除けねばならぬ。

併し今回の争議に對し直接治安維持の地位にある内務省の重要な某局長の言動は吾等をして甚だ失望せしめ且不快の感を懐かしめたのである。某局長が去月廿九日今度の労働争議問題について斯う曰つた「警官の拔劍は悪いと斷ずる譯には行かない明治十七年の太政官布告にあるのだから法令に準據して適當の措置を取つたものと思つて居る（中略）安寧秩序を案せば容赦なく引括る之が警保上の役目である（中略）要するに内務當局は目下縛る方針のみ立て、居る」云々。實に言語道斷の暴言ではないか。明治十七年の布告と曰へば未だ憲法發布前のもので而も斯る布告なるものは當時民衆の立憲的運動を壓迫せんが爲に閣族官僚の徒が發案した封建的制約の遺物に過ぎない。更に談話中引括るとか縛るなどの言辭を弄するに至つては其の蒙昧さ加減驚く許りである。彼は斯くの如き古色蒼然たる舊の生れた思想をもつて果して能く新時代の警保上の職責を全ふし得ると信じて居るであらうか。拔劍、引括る、縛る之れでは労働争議を宛然臺灣生番の首取り騒動と同一視して居るのであらう。されど過去は過去として葬らぬめよであるから多くを責めないが、將

來斯る運動の取締を生番討伐と履き違へないやうにして欲しい。又某局長の談話と前後して床次内相は國民黨の代表者と會見した際國民黨委員が「職工側より工場委員制度を會社に要求せるもの又は申出でんとする者は悉く誠首さるるを以て問題の解決は至難である」との言に對し内相は「斯くの如き事實ありや果して然らば資本家側の頑冥によるものであらう」と頗る労働者側に同情したさうである。是を以て觀るに床次内相は幾分か時代思潮を解し労働者に温情を向けて居るらしく見える。而も其の部下が前叙の如き時代錯誤に陥つてゐるのは甚だ吾人の意を得ぬ次第である。假令部下の足らざる所と雖も結局國務大臣たる床次内相の責任に歸するものである。内相たるもの又十分留意を拂はねばなるまい。之を要するに此の種の民衆的運動に際して官憲は其の言動を餘程慎重にせぬと却て社會の反感を買ひ事態をして益紛糾惡化せしむる虞ある事を當局に警告する。

磐城俳壇
夕闇や水田かすめて飛螢
卯の花に月のさし添ふ白さ哉
打水の匂ふや露地の箒目に
美與子 洪 格

Table with multiple columns and rows, likely a market or exchange rate table. Includes headers like '表着' and various numerical entries.

姉妹の曠着涼しう袖を吹く
低う來る割にもこれの螢かな
庭垣の風雅に破れて月見草
夕かほや未だ雫する洗ひ馬
朝雨のきみよく晴れて時鳥
夏瘦は親の譲りでなかりけり
讀賣のあみ笠目立つ娘かな
連れ立や令嬢衆の螢狩り
城山は既に夜明けて時鳥
朔日に宇治の新茶の届きけり
ハンカチに擲りて床しや茄子の藍
投句歡迎 搔櫛小路四 磐城吟社宛

日本蓄音器商會特約店
會田時計店
平町四丁目
電話 三六三番

萬年工業社
製造 萬年工業社
電話 三八番
社主 江口忠一
平町田町八番地
堀江工業株式會社
電話 五一九番
平町南町
織田材木部
電話 四一六番

調理の新鮮
座敷の清涼
山 口
電話 二六二番

攝生
養生（活力増進）活動
衛生（健康保守）健體
醫藥（常態恢復）病體
夏ノ養生ハ肉食ヲ以テ第一トス 夏ノ牛豚肉ハ
田町三三三屋
電話 三三三番

開業
「七月十七日より」
京東 御手輕鳥料理
鳥料理は滋養に富み
夏季の副食物として最適に候
夕涼御散步の節是非
御立寄御風味被下度候
仕出しは一品にても御用の節は迅速に配達可仕候
平町二丁目北裏通り「若林跡」
呼出し 三四三番

西洋料理
相初め申候
仕出しは一品にても……
迅速に配達致し升
平新田町
千 鳥
電話 五〇九番

御鼻負様の御勧めにより
西洋料理
相初め申候
仕出しは一品にても……
迅速に配達致し升
平新田町
千 鳥
電話 五〇九番

御鼻負様の御勧めにより
西洋料理
相初め申候
仕出しは一品にても……
迅速に配達致し升
平新田町
千 鳥
電話 五〇九番

今日の問題

今日まで補手傍觀、障らぬ神に崇りなご極め込んで居た有吉知事が猛然として神戸労働争議の居中調停をする決心をしたといふから意外に思つて居ると、何の事だそ

資本家側に迎合する者の爲めにならば骨を折らう然らざる多數の爲めには起たぬとあつては、知事公の頭が既に公平を失つて居る、これでは労働争議に何等解決の動機を與へないばかりか却て全罷業團の心理に悪影響を與へ益悪化の傾向を強くするばかりだ

仙臺の石原博士に戀物語りあり、東大の助教後藤某に家庭の紛議があり、之も其裏には女子が居ると傳へられる學者は學問を以て立つもの、徳不徳を問ふは野暮の骨頂か、これ當世氣質の代表的好一對

縣立學校擴張

五日の協議縣會

本縣大正八年度通常縣會に於て宮田知事は縣教育を定むべく現在の乙種程度の郡立學校を其儘或は甲種程度に引直して更に之を縣立に引直した中學校も新築の上縣に寄附する時は縣立に引直すと云ふ提案をなご兩者を通じて

土用二の丑

股賑たる四倉

土用二の丑は土用の二の丑とて海水浴浴者無慮二萬人

受くる事に決定し各郡に於ては其方針に従つて着々遂行し來れるが略縣立引直に決定したるは河沼郡立農學校と相馬郡立農學校の二

甘餘名會合の上之が建設に對する協議をなしたるが未定成校十一校の總經費の半額を縣に於て補助せられん事を縣會に於ける建議案と同様の形式を以て縣に請願する事となご之が交渉委員を選定したるが其結果同派縣參事會員

中央公園新設

郡山町の

郡山町に於ける中央公園新設問題はいよゝ事實となりて現れ縣社安積國造神社境内の擴張となり過般來同神社前面の家居取拂ひ溝渠開鑿に着手したるが同事業は第一期に屬し第二期第三期に亘りて大公園となす迄には神社の改建を初め水戸公園其他を參酌して理想的なものならしむ豫定にして各方面の視察等も略終了するに至れり

夏季大學に出た藝者

音羽と小壽美

夏季大學に、萬緑叢中紅二點のすゞしき装ひの女性交つてゐて男ばかりの聴講者席に注意の焦點となつてゐる、それが二人白河町の藝妓と云ふので一層話題になつてゐるわけだ。第一回の猪苗代のときも藝者の聴講者があつて艶かしい噂が傳へられた。いよゝ夏季大學に藝妓が

双葉中學問題

双葉郡は中等程度の教育機關なく大正八年双葉郡會は甲種農學の設立を可決したりしも翌年郡長交渉と共に中止し寧ろ中學校を設立せんと企畫せるが何等の進捗を見ざりしに有識家間に設立説再燃し昨年十月樋口郡長は郡會議員町村長を招致して可否を論議したるも當時財界の變調時なれば賛成の能はざりし事情ありしも其の必要は一般の認むる處で建設費用は約三拾萬圓にて三分の二を郡に於て負擔し各町村平均一萬圓以上負擔となるも果して之に堪ゆるや否やは問題にて或者は郡長の不誠意が實現を遅々たらしむるなすも斯る地方的重大事を郡長にのみ手を俟つ可きものに非ず一に地方民の覺醒

漁港修築補助

石城郡四倉町漁港修築工事大正十年度檢定工費金壹萬五千七百九圓此補助金壹萬六千參拾五圓にして本年七月十二日其筋に中間金申請の處三日附にて内金六千拾七圓下渡の指令ありたり

石城の鯉豐漁

昨年に比し 四十二萬圓の増收 本縣水産試驗場の報告に依れば五日までの鯉漁は初漁以來の總數五十一萬三千四百六十尾價格五拾八萬九千九百拾九圓の多きに上りこれを昨年同期に於ける十九萬六千二百六十八尾價格拾六萬四千六百

るの間も無く白河へ藝者に賣られその後小野新町、飯坂、福島など轉々して昨年の春三月再び振出しの白河へ歸つていまの富久江に抱へられたのだが、飯坂福島時代には福助と名乗つてゐた

一寸文筆の心得あり、福島の新聞などもちよよいとしたものを一二と發表した事もある。飯坂時代には濱の家真砂子なる匿名で大紙上に「妾の半生」なる告白文を讀みものに書いた事もある。探偵物が好きでユーゴーのジミゼブルの翻譯など其の愛讀書中の愛讀書だと聞いた。文章などひねくる女性に似げなくかうした一寸見ても相場でも張

り相な女だ 昨年の秋、福島市に縣女子雄辯會が開れた時二部一般婦人の方へ出演を申込んできて主催人の東北文藝協會の諸君を驚かした事もある但し演説會には抽籤の結果落ちたと云ふ表面の油断で協會から態よく斷つたらさかつた然し彼にも戀はあつた……「彼女にも」は可愛相だと言ふかも知れないが……以前の事は分かつたが音羽が飯坂から……福島へ。福島から……白河へと住替するときは其所に彼女の愛人たる若き警察署長としての石賀君が何時も一足先に轉任して行つてゐたのであつた

赤井村野統一

石城郡赤井村に於ては部落有林の統一を企畫し去る四日午後一時より同村長助役區長及部會議員ら會合し整理案に對し協議を遂げたるが區長議員間に意志の衝突ありて結局流會となりたるも更に村長ら再協議會を開くことに決定したる

謹告

小生本年新益に相當致し候得共提灯其他の御贈與は一切御辭退致したく此段謹告致候早々 大正十正八月 紺屋町 白井博之

白井博之

磯原製鹽所視察

本日前八日發 平在住新聞記者有志左記十五名は茨城縣磯原に新設されし製鹽所視察の爲め本日午前八時廿五分發の列車にて出發したるが視察後に同地天妃山附近に一日の清遊を試みたりと 齋藤東京日日△八代朝日△鈴木時事△高橋報知△坂本中央△山田福島民報△山同日△吉田福新△佐藤磐城時報△土屋同△馬場茨城日報△宮田川崎西川各いはらき△柏木本紙編輯主任

豊間の肺療所 回春園の擴張

明年度豫算に壹萬圓計上 縣立回春園は現在の病舎にては多數の患者を收容するに不便なるを其治療上の設備等に於ても不備の點ありて入院者の治療上に遺憾の點ある爲差當り室内の増築及治療に要する機械器具を購入し設備の完全を期すべく其經費約壹萬圓を明年度豫算に計上し縣會に提出する爲四日河井園長來縣の上豫算編成上に就き種々打合せ處ありたり

涙の父子行

盲目の貫ひ子

石城郡湯本村大字關船地内を三日

磐中同窓開會

磐城中學同窓會第貳拾回總會は拾日午後一時

より清野駐在巡查が取調べたる處此ものは新潟縣中蒲原郡加茂町法華宗本山大門前居住修行者伊原熊吉(四〇)にて當日白河町在大里村に住居あり同行の盲目少年は會

成賑たる四倉

昨六日は土用の二の丑とて海水浴
旁々一日の清遊を得んと海濱に杖
を曳くもの頗る多く四倉驛乗降客
のみにても約三千人に達し團體と



哀艶の人々

「中には本人が好きで娼ばいをして居るものもありませんよ」
記者は彼等と對談してその前身を詮索せんとするに、往々こ
うした言葉を耳にするが、之等は
自分の經歷を能く限り悲惨な小説
的な所謂人工的技巧的なものに説
明してより多く男の同情を得んと
する政策から割り出した他の誹謗
的言語と確信し……何を苦んで
かわれと好んで二無き貞操と云ふ
笑婦たらんとするものがあらう乎
？と云ふ斷定の下にその都度「ま
さか」なる語を以て腦天から之を
否定して居たのであつたが「自ら
好んで……」と云ふ例外的存在
を斷定する彼ら一部の言は強ち彼
らが自己の經歷を悲惨なロマンス
チックなものとして價値づける事を
目的とする虚構のみでない事を記
者は最近に於て首肯し得たのであ
る

乃ち記者は最近平町の南町某所
に於て自分が面識ある妙齡二九の
處女が今將に思ひつき酌婦稼業の
生活に入るべき運命に逢着しつつ
あるを耳にし無智な淫れ男の爲に
泥土の如く處女の純潔を蹂躪され
て終るべき乃ち精神的のギョロチン
に置かれた可憐なる少女の現状に

快晴となるに從ひ近在近郷より
押すなすの……午後二時
頃最も多く無慮二萬人と注せらる
鎌田青年團主催のマラソン競争な
りありて先着者に賞品を授與せり
中にも裸體の曲線美をカメラに納

道路委員開會 平町南裏新
道路調査は前月來調査の結果此結
了せしより七日午前九時役場内に
委員會程を開けり

石城郡湯本村大字關船地内を三日
午後二時頃子安觀音の像を運ぶ
の筈を負ひ九歳の盲目の男の子を
引連れて喜捨を乞ひ廻るものある

媛縣生れ豊田治平外六人
を逮捕せり
坑夫多數生理 五日午後
十一時頃福岡縣鞍手郡宮
田村貝島鑛業經營の桐野
炭坑坑内煉瓦卷坑道の天
井俄然墜落就業中の坑夫
多數生理となつた六日朝
迄に判明した者即死二名
重傷十數名尙負傷者多數
ある模様
山公邸を襲ふ 名古屋市
南区喜早左衛門門（四
二）といふ狂人は五日午
後六時小田原着列車に搭
乗し小田原驛で自働車を

借り山縣公の古稀庵に赴
き公に面會したと申込
み案内もなく奥の間に突
進せんとしたるより詰切
りの憲兵が之れを認めて
取押へ郷里の警察署に照
會中
絶世のお轉婆 千葉縣印
旛郡八生村の小倉サタマ
は男の同伴者と五日立山
より室殿に到着せるが此
女は黒部を探勝し劍嶽を
踏破して來れるものであ
る至つて登攀者の少き劍
嶽を而も女で登攀したの
は之れが嚆矢である

土用明けの天候

漸やく回復した
立秋は明日の正午前
奥羽の外概ね晴天
一時冷気勝ちになつた土用の天候
も回復して九十度に近い高温とな
つたが明日午前十一時四十分
立秋の節に入るのである、土用明
けの天候につき水戸測候所員の語
る所では昨日午前六時の氣壓の配
置は高氣壓小笠原島に七百六十ミ
リ低氣壓は臺灣恒春の東方に七百
四十四ミリを示して北々西に進み
副低氣壓は比律賓群島に七百五十
ミリを示し不動の體であるから本
日は奥羽地方を除いて全部晴天を
見るであらうと

大劇場の計劃

原町に公會堂兼用の
無電局で俄かに賣り
出した町有志の奮起
相馬郡原町に於ける劇場原町座は
創立後既に廿年を経たるものにし
て場内の不潔狹隘且不便多く之れ
が
新築の 議は多年町民の間に
論議され來れる所なるが過般無線
電信所の開通と共に原町の名漸く
遠近に聞こぬ町の面目上に於ても

ポケット珍聞

●山中の大惨劇 大分縣中
津江村楠一夫（二六）江村
坂本幸一（二二）の兩名は
福岡縣八女郡大淵村木挽
職莊島友吉（二八）同山田
彦一（三一）の紹介にて大
淵村山林買入の爲め一夫
が金二千圓を懐中し四日
午後六時頃右山林に入り
たる儘四人共行方不明と
なつたが或は友吉等が仕
事用の鉞で兩名を殺殺し
たのではないかと其筋で
は大捜査を開始した

平商業生徒

溺死せんとし
四倉海岸で救はる
石城郡平町四丁目石炭商千秋屋阿
部幸太郎長男にして平商業學校第
三年生庄次郎（一七）は去る四日午
後二時頃同郡四倉町字仲町海岸な
る俗に「ハライ」と稱ひ同町民も恐
怖し水泳危険地域として標札ある
にも拘はらず入水せる爲め潮流の
關係にて同所より字新町同濱漁業
組合事務所前なぎさを距る約百廿
間沖合の海面へ押し流され浮つ沈
みつ危く溺死せんとし幸うじて救
助を求めつゝありしを同海水浴場
救助船長國玉長七の發見する處と
なり急ぎ現場に漕ぎ行き救助せら
れたり因に同町役場にては國玉
長七に對して人命救助として近廿
中褒賞其筋に申請する筈なりと
云ふ

腸チブス蔓延

上遠野村の昨今
石城郡上遠野村は年々チブス患者
續出し本年は豫防に務めたるも去
月十九日上遠野村下瀧内富士炭礦
新長家に腸チブス患者を出し既に
六名に及び此後益々猖けつる模様
あるを以て植田警察分署にては炭
礦醫原氏に村醫鈴木省氏と協方
全勞役者に豫防注射を行へたり

有聲座

活動寫眞
八月四日替り
▽實寫瑞西に於ける英兵 ▽喜劇
嘘はかり 人情劇世の隔て ▽舊
劇戸澤山城守 連續活劇大旋風五
四倉座 活動寫眞八日替
喜劇嫁の居眠り 舊劇明石志賀之
助 新派悲劇片思ひ 活劇懸賞付
運命の指輪九十篇



媛縣生れ豊田治平外六人
を逮捕せり
坑夫多數生理 五日午後
十一時頃福岡縣鞍手郡宮
田村貝島鑛業經營の桐野
炭坑坑内煉瓦卷坑道の天
井俄然墜落就業中の坑夫
多數生理となつた六日朝
迄に判明した者即死二名
重傷十數名尙負傷者多數
ある模様
山公邸を襲ふ 名古屋市
南区喜早左衛門門（四
二）といふ狂人は五日午
後六時小田原着列車に搭
乗し小田原驛で自働車を

